

相馬市成人式



市成人式は1月12日、市民会館で行われ、晴れ着やスーツ姿の新成人が大人の自覚と責任を胸に秘め、式に臨みました。

成人式の司会を務めたのは、坂田龍之介さんと北畑愛叶さん。

式で立谷市長は「今日ここで成人を迎えた皆さんそれぞれが一生をおおとしての仲間となり、支えとなることが我々の期待です。東日本大震災という逆境に対し、みんなで力を合わせて乗り越えたことを心に持つて生きてください」と新成人を祝いました。

新成人意見発表では、横山歩さんと門馬光里さんが新成人としての決意を述べました。

新成人たちは、久しぶりに顔を合わせた友人と写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりするなど、再会を喜び合いました。

成人を迎えた、平成11年4月2日から同12年4月1日生まれの287人が式に参加しました。



式場に飾られた市華道教授会による生け花



新成人代表 横山歩さん



本日、私たちは成人式という人生の節目、そして大人としての門出を迎えることができました。私たちがこうしてこの日を元気に迎えることができたのも、私たちのことを一番よく理解してくれて、ずっと支えてくれた家族、どんな時でも温かく、そして厳しくご指導してくださった恩師の皆さま、地域の方々、そして、共に学び、かけがえない時間を過ごしてきた友人たちのおかげです。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。日々の感謝をいつか皆さまに恩返しできるように自分を磨き日々精進していきたいと思っています。

私事ではありますが、現在、私は大学で教師になる、という夢を叶えるために、日々奮

闘しております。子どもたちにどのように教えたらかかりやすく楽しいものになるか、そもそも教育とは何か、と考えるたびに教師という職に就くことが非常に難しいということを痛感しております。だからこそ、もっと自分で教育への考えを深め、立派な教師になり相馬に戻ってくることで、次世代の相馬の子どもの豊かな心を育むことが私のできる精一杯の恩返しだと思っています。自分の夢への道を決して曲げることがないように、お世話になった方々への感謝と思いやりの精神を忘れずに、これからの未来を歩み続けていこうと思います。

最後になりますが、「初心忘るべからず」ということがわさがございます。成人式を迎えた今日、私たちは自らの初心をもう一度確認し、一人の社会人としての自覚と責任、そして人を思いやる優しい心を持ち、社会に貢献することを誓い、簡単ではございますが、新成人代表のあいさつとさせていただきます。

※あいさつの一部を抜粋して掲載しています。

大人の自覚を胸に



司会を務めた北畑さん（左）と坂田さん（右）



国歌斉唱する新成人



あいさつする立谷市長

→成人式当日の様子は、
こちらのQRコードか
らご覧いただけます。



新成人代表 門馬光里さん



技術改革は進み、生活がより便利になっています。そのため、学びやで得た経験から、今後日本の発展に大いに役立てる仕事へ就きたいと考えております。そして、いつか私たちが育んでくれた社会のために、恩返しとして地域貢献もしたいと思っています。

新成人の皆さんも、これから何十年という人生を歩む中で、楽しいことや悲しいことなど、今までにない経験をすることが多々あると思います。しかし、くじけずに互いに切磋琢磨（せつさたくま）し、自分の目標に向かって苦難を乗り越えていってください。

私たちは、二十歳という人生の大きな節目を迎え、さまざまな道を進んでいます。個々の目標は違いますが、日々自分たちの成長を感じながら、懸命に目の前の目標に向かってがんばっていることと思います。こうして今、成人式を無事迎えることができたのも、一番そばで支えながら育ててくれた家族や、温かくご指導してくださった恩師の方々、また地域の人々や苦楽を共にした友人のおかげです。この場を借りて、感謝の気持ちをお伝えします。

現在私は、工業を専門に技術者となるべく宮城の学校で勉学に励んでおります。企業の人手不足も深刻化しており、私たちのような若者の活躍が期待されています。また年々

※あいさつの一部を抜粋して掲載しています。